

定期の予防接種の種類と接種間隔

ワクチンの接種間隔に注意しましょう。
接種対象年齢を過ぎると全額自己負担となります。

■定期の予防接種：法律に基づいて市が実施する予防接種です。接種対象年齢であれば、費用は無料です。

■任意の予防接種：法律に定められていない予防接種や、定期の予防接種対象年齢を超えて接種した予防接種です。費用は全額自己負担です。(金額は医療機関によって異なります。)

予防接種の種類		接種対象年齢	回数	接種間隔・注意事項
ヒブ感染症★		(望ましい開始時期) 生後2か月～ 7か月になる1日前に開始	4回	【初回】 27日以上の間隔で、1歳になる1日前までに3回接種 (望ましいのは27日～56日の間隔) 【追加】 初回接種終了後、7か月以上において1回接種(望ましいのは7か月～13か月の間隔) ※ただし、初回2回目及び3回目の接種は1歳になる1日前までに行う。
		生後7か月～ 1歳になる1日前に開始	3回	【初回】 27日以上の間隔で、1歳になる1日前までに2回接種(望ましいのは27日～56日の間隔) 【追加】 初回接種終了後、7か月以上において1回接種(望ましいのは7か月～13か月の間隔) ※ただし、初回2回目の接種は1歳になる1日前までに行う。
		1歳～5歳になる1日前に開始	1回	1回接種 種類等について変更がある場合がありますので、市ホームページをご確認ください。
小児の肺炎球菌感染症		(望ましい開始時期) 生後2か月～ 7か月になる1日前に開始	4回	【初回】 27日以上の間隔で3回接種(望ましいのは、1歳になる1日前まで) 【追加】 初回接種終了後、60日以上あけて1歳以降に1回接種(望ましいのは1歳～1歳3か月の間) ※ただし、初回2回目及び3回目の接種は2歳になる1日前までに行う。
		生後7か月～ 1歳になる1日前に開始	3回	【初回】 27日以上の間隔で2回接種(望ましいのは、1歳になる1日前まで) 【追加】 初回接種終了後60日以上あけて1歳以降に1回接種 ※ただし、初回2回目の接種は2歳になる1日前までに行う。
		1歳～2歳になる1日前に開始	2回	60日以上の間隔で2回接種
		2歳～5歳になる1日前に開始	1回	1回接種 種類等について変更がある場合がありますので、市ホームページをご確認ください。
B型肝炎		生後0か月～1歳になる1日前 (望ましいのは生後2か月～生後9か月の間)	3回	27日以上の間隔で2回接種し、1回目から139日以上あけて3回目を接種 ※ただし、HBs抗原陽性の母親から生まれた児で、母子感染予防のため抗HBsヒト免疫グロブリンの投与にあわせてB型肝炎ワクチンを受けた児は、定期接種でなく健康保険での適応となります。
ロタウイルス	ロタリックス (1価)	生後6週0日～生後24週0日	2回	27日以上の間隔で2回接種 ※接種対象期間を過ぎた場合は、接種することができません。
	ロタテック (5価)	生後6週0日～生後32週0日	3回	27日以上の間隔で3回接種 ※接種対象期間を過ぎた場合は、接種することができません。
ロタワクチンは2種類ありますが、効果は変わりません。どちらか一つを選んでいただき、その種類で接種を完了してください。				
四種混合★ (百日せき・ジフテリア・ 破傷風・不活化ポリオ)		生後2か月～ 7歳6か月になる1日前	4回	【初回】 20日以上の間隔で3回接種(望ましいのは20日～56日の間隔) 【追加】 初回接種終了後、6か月以上(望ましいのは1年～1年半)の間隔で1回接種 種類等について変更がある場合がありますので、市ホームページをご確認ください。

★新規で接種する人は、五種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ感染症)となります。